

2015年度 活動報告 (2015年4月1日～2016年3月31日)

特定非営利活動法人 JAM ネットワーク

【総括】

企業との協働や行政助成金による社会貢献事業では、ゴールドマン・サックスプロジェクト、独立行政法人福祉医療機構 (WAM) プロジェクト、神奈川ボランティア基金 2 1 協働事業負担金事業の3つの事業を行い、18 の児童養護施設と1つの神奈川県委託拠点でことばキャンプを実施。3つの事業実施により児童養護施設実績数が拡大した。(のべ72施設)

新事務所に移り、①ことばキャンプ教室 (幼児・小学1, 2年、小学3～6年クラス)

②親を対象にした講座 ③イングリッシュカフェをアンテナ的に開催し、内容の蓄積とニーズ動向を把握し、次の事業展開に結び付けていくこととした。

I WS 事業

売上外事業

神奈川ボランティア基金 2 1 協働事業負担金事業

- 1) 自立支援プログラム実施事業 小学生トライアルP (2回) ×5 施設、小学生フルプログラム(6回) ×1 施設、中学生フルプログラム(4回) ×1 施設
- 2) 職員研修事業 児童養護施設職員対象研修 (3回) ×1 施設、児童養護施設職員と児童のイベント (神児研・あすなろサポートステーションとの協働) 1回
- 3) サポーター養成事業 大学生養成講座 2日間
- 4) 効果検証事業

独立行政法人福祉医療機構 (WAM) プロジェクト

- 1) 職員研修を3回のプログラムにすることができた。初めて静岡県、長野県、茨城県の児童養護施設で実施した。今後子ども対象プログラムの実施につなげていく道ができた。
- 2) 退所後の子どもたちの社会課題の活動として社会体験を実施した。プロボノで参加した人たちとの協働が実現した。
- 3) 関係者のみを対象とした研究会は4回目となり、遠方から参加するようになった。プログラム実施につながるなど、発展が見込めた。

ゴールドマン・サックス社助成金事業

小学生対象フルプログラムを3施設で実施した

G S社の社会貢献部門の資金や方向性の転換があり、3施設と縮小の方向になった。

里親・肢体不自由児

里親の会「フォスターサポート」から依頼を受け実施。

肢体不自由児のサッカークラブ「エスペランサ」、長野県の「そらいろのたね」で今年度も実施した。

II 人材育成事業

なし

III 情報発信事業

なし